

横浜市アマチュア無線非常通信協力会

旭区支部 だより

不定期発行

平成23年度支部総会開催しました。

2011年4月17日、日曜日、08:30より旭区役所新館大会議室にて開催。

(会員数108名、参加45名、委任状44名)

支部長挨拶に先立ち東関東大震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈り全員で黙祷。



[支部長挨拶の概要]

東北地方太平洋沖大地震発生(3月11日)から2日後(3月13日)、中央非常通信協議会会長(総務省総合通信基盤局長)からJARL宛に「災害地の通信確保のためのアマチュア無線局の積極活用について(要請)」が出されました。

* 免許人の保有するアマチュア無線局の無線設備につき、近隣の災害対策本部や避難所に連絡手段として提供又は使用させることをご検討いただきたい。

* なお、本件の協力要請は、電波法74条に基づくものではなく、各免許人の善意による自発的な協力を期待するものである。

このことは

* 発災直後の災害対策本部・避難所の通信手段確保の緊急性が非常に高かったこと

* アマチュア無線に対する国の姿勢(期待)の現れ だと思えます。

平成7年1月17日に発生した、大都市直下型の阪神淡路大震災では、1000人のアマチュア無線ボランティアが3ヶ月間活動したとの記録がありますが・・・

反省点として

* 統制された通信ネットワークの必要性

(発災後暫くは混乱状態でした。2月12日に統制局8J3AMRがスタートしました。)

* 行政とのリンク(連携)の必要性 が認識されました。

上述した2大震災の経験からから、アマチュア無線ボランティアとして望ましい「災害対策本部・避難

所への無線局設置、統制されたネットワーク、行政との連携」に関して、旭区支部としてほぼ骨組みは出来ている状態です。これからは、発災時により有効な活動ができるような肉付けをしてゆく段階だと思います。

加えて、会員皆様の自発的、自律的な活動に繋がらなければ「絵に描いた餅」で終わってしまいます。実効あるボランティア活動とするためには、適切に情報を共有し、地道な疑似体験（訓練）を積み重ねてゆくことが大切だと考えています。

同じ志を持った仲間として、皆で知恵と力を出し合って我々の活動を成長させて行こうではありませんか。

[議事内容]

- 1) 22年度活動報告（案） 質疑の後、承認採決
- 2) 23年度活動方針（案） 質疑の後、承認採決
- 3) その他
 - a) 会員証に関する細則（案） 質疑の後、承認採決
 - b) 選挙管理規定（案） 質疑の後、一部体制の後承認採決
 - c) 役員の補充（案） 質疑の後、承認採決
 - 第2ブロック、副ブロック長 JQ2NBN 大宮さん
 - 第4ブロック、ブロック長 7N10VK 伊東さん
 - 副ブロック長 JH1EKQ 佐藤さん
 - d) 防災拠点用同軸ケーブル購入（報告）
 - e) 22年度寄付金（報告）
 - f) 活動活性化委員会（報告）

その他

来賓挨拶

和田横浜市議会議員

萩原旭区長

山口副区長、菅野総務課危機管理担当係長を紹介

11:50 議事終了後、記念撮影を済ませ、解散

新入会員お知らせ 4月20日現在108名（担当防災拠点名）

3月20日	JM1DXF	湯浅	甲司さん	（善部小学校）
3月24日	JO1ASM	長谷川	正幸さん	（今宿南小学校）
4月3日	JG1IFL	宮川	弘さん	（笹野台小学校）

旭区支部では会費を頂いていません。皆さんの「カンパ金」で運営しています。

皆様のご協力をお願いします。

総会会場において参加会員の皆さんから沢山頂きました。

東日本大震災義援金 6,172円 日本赤十字社に寄付しました

旭区支部カンパ金 19,651円 頂きました、ありがとうございます。

カンパ金の振込先

横浜銀行二俣川支店 普通預金 1769527 名義人 宮本尚